

夏休みを有意義に楽しく
～読書、音楽、自然の中で～

学校長 鎌田直純

一学期もいよいよ終わろうとしています。保護者の皆さまにおかれましては、学期中、学校の運営や活動に、深いご理解を頂き、多くのご協力やご支援をいただき、心より感謝いたします。皆様にとってはあっという間に時が流れた三カ月余りだったのではないのでしょうか。四月の和楽会は、学年を超えた生活団が組織されて行動する最初の大きな催しでした。上級生は一つずつお兄さんお姉さんになったことを自覚し、下級生を思いやる責任感や包容力を少しずつ身に着けました。一年生は上級生を見て、あこがれを感じると共に、とても頼もしく思ったことでしょう。石神井公園への行き帰りで、上級生に手を引かれて歩く新入生の安心した様子は、とても心温まる微笑ましいものでした。公園では、昔ながらの遊びで団ごとに過ごしました。このように仲間との遊びによって、生き生きと精神を解放させることは、人との関わりを学び、子どもの心を豊かにするためにとても必要なことです。五、六年生はこれから富浦の臨海学校ですが、遠泳では、それぞれ自分が決めた目標に向かって挑戦します。そして自然の中で共同生活をしながら、仲間との絆を築き、学校生活では得られなかった豊かな時を過ごします。

さてこれから始まる長い夏休み、普段の学校生活では余りできなかった事に、取り組んでみてはいかがでしょうか。夏休みは、落ち着いて本を読む時間を取るのに絶好の機会です。お子様と近くの図書館などに足を運び、一緒に読書の時間を過ごして下さい。伝記、歴史や図鑑など様々なジャンルの本の中から興味のあるものをお子様と一緒に読んで、後でその内容について感想を話し合ってみて下さい。また、ぜひ保護者の皆さまの子ども頃に歌った歌を教えてあげて下さい。そのように過ごした夏休みは、子ども達の記憶にいつまでも残ることでしょう。そして時間を見つけてお子様と自然の中で遊ぶこともして下さい。子ども達は自然の中で驚くほどたくさんのものを発見し、思考し成長していきます。

最後に申し上げたいことがございます。それは夏休み中のお子様方の安全です。くれぐれも危険に気を付けて、事故のない、楽しい夏休みを過ごしていただきたいと思います。2学期が始まったとき、ひと回りたくましく成長したお子様たちが語る夏の思い出を、私達は楽しみに待っています。